

第17回 日本経営会計学会 全国研究発表大会 プログラム

—統一論題：高度情報化社会における経営会計—

2016年6月25日(土)

於：国土館大学(世田谷キャンパス)

9:50 受付開始(34号館3階B304教室前)

会員控室:34号館A308教室

	A会場(34号館3階B302教室)	B会場(34号館3階B303教室)	C会場(34号館3階B304教室)
座長	竹中徹(石巻専修大学)	大塚健太郎(早稲田大学TN-HRM研究所)	蒲生伸幸(税理士・行政書士)
10:20-10:50	資本構成とビジネスリスク—ビジネスリスクの調整メカニズムについて— 亀川雅人(立教大学) 高橋隆太(立教大学大学院)	人工知能と自動会計処理の可能性 加藤将貴(国土館大学)	税務職員の誤指導による納税の猶予の適用の検討—納税者の予測可能性と公平性— 長谷川記典(税理士法人アディーレ会計事務所)
10:50-11:20	統合報告に向けた情報システムの連携—財務会計とマネジメントシステムの関係性— 齋藤香織(麗澤大学大学院)	高度情報化社会における実務会計のジレンマ—会計自動化の失敗の歴史— 木川明彦(宮城大学大学院) 坂本眞一郎(宮城大学)	相続税課税根拠の補充税論と中間比率の関係—二重課税問題回避と公平性の検討— 内田直仁(宮城大学)
11:20-12:20	昼食 理事会(34号館3階B301教室)		
座長	亀川雅人(立教大学)	吉田健一郎(麗澤大学)	近藤明人(麗澤大学)
12:20-12:50	重要な意思決定をするために必要な組織の意思決定の因子の研究—日本の製薬業界における意思決定の因子— 堀内美雅乃(大鵬薬品工業株式会社)	人事制度が及ぼす女性の管理職登用への影響—育児・介護休業法が施行される前と現在を比較して— 石井清香(立教大学大学院)	事業が終了したPFI事業に関する一考察—岩手県紫波町の事例— 岩田 智(岩手県立大学)
12:50-13:20	わが国企業のマネジメント・コントロールと組織文化の関係性 絹村信俊(三菱自動車工業株式会社)	わが国における企業経営に関する一考察—障がい者雇用におけるダイバーシティ経営— 井上元哉(宮城大学)	地域公益事業と情報公開支援 藤本孝一郎(城西大学) 坂本龍太郎(総合調査開発機構) 坂本眞一郎(宮城大学)
休憩			
座長	出山実(宮崎産業経営大学)	陳玉雄(麗澤大学)	中村将人(中京大学)
13:30-14:00	政治的環における機会—解釈、資源、能力の観点から— 安田直樹(立教大学)	情報の役割と効率的市場—決算報道と株価動向のイベントスタディー— 黒田明彦(立教大学大学院)	財務報告に求められる会計上の利益とキャッシュ・フローとの連携：2つの利益概念の有用性をめぐって 高 欽虹(麗澤大学大学院) 倍 和博(麗澤大学)
14:00-14:30	企業市民活動が社会価値に与える影響—統計分析による企業の社会的価値形成への提言— 阪本 豪(大阪市立大学院)	企業間アライアンスの相互補完数理モデルの提案—フロー概念とギブ・アンド・テイクの考え方による新たな展開— 富田 賢(慶應義塾大学大学院) 武藤佳恭(慶應義塾大学)	経済変動と企業財務の関係性—退職給付制度が与える影響について— 大塚健太郎(早稲田大学トランスナショナルHRM研究所)
休憩			
座長	仲本大輔(大分大学)	岡田匡令(淑徳大学)	竹田範義(長崎県立大学)
14:40-15:10	マーケティングにおけるプロダクト・プレースメントに関する考察 連 宜萍(麗澤大学)	日本のカスタムソフトウェア開発の外注化—開発工程の軽視の問題を中心に— 平井直樹(立教大学大学院)	General Electric社の価値分析 菅森 聡(日本大学大学院)
15:10-15:40	中小企業においてマーケティングが活性化しない理由 横田和洋(博報堂)	マイナンバー制度のロードマップを踏まえ、住民への理解、効率的な制度運営に向けた一考察 吉田健一郎(麗澤大学)	経理関連業務に必要な知識の習得方法に関する一考察—日商簿記検定を中心に— 原田文規(山形県立産業技術短期大学校内校)
15:40-16:10	百貨店の小売業態進化と今日的意義 福田二郎(株式会社博多大丸)	知的経営における情報フローのモデル化に関する研究 柳田健太(宮崎学園短期大学)	
移動・休憩			
16:30-16:55	● 会員総会(34号館3階B301教室)		
17:00-17:50	(34号館3階B301教室)		
	● 基調講演：情報化社会における企業の社会的責任と個人情報保護・プライバシー保護 湯浅 塾道(情報セキュリティ大学院大学 教授)		
移動・休憩			
18:00-19:30	懇親会		